



議会だより

けんぶち



渾身の一投（福祉運動会にて）

新型コロナウイルス感染症対策事業	2
第3回臨時会・第2回定例会	3～4
一般質問に4氏が登壇	5～8
議会改革特別委員会行政視察報告	9
みんなの声がまちづくり	10

No. 143

2023年9月発行
(令和5年)

発行：剣淵町議会
編集：議会広報特別委員会
〒098-0392 剣淵町仲町37番1号
☎0165-26-9020 (直通)
<https://www.town.kembuchi.hokkaido.jp>

新型コロナウイルス感染症対策事業

補正額
3,615万円

総務 低所得世帯支援事業

住民税非課税世帯に対し、物価高騰の影響を緩和し、消費の下支えを目的とする。
令和5年度住民税非課税世帯数
480世帯に3万円 など



1,508万円

総務 地域公共交通維持・確保応援事業

地域公共交通は高齢者にとって重要な交通手段であり、路線バスの維持を図る。
路線バス事業者(道北バス)に交付する。



620万円

健康福祉 福祉施設における物価高騰対策支援交付金

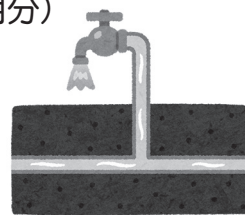
燃料等価格高騰の影響を受ける社会福祉施設等に対し、負担軽減のための支援を行う。
面積に応じて10万円～150万円



470万円

建設 水道基本料金減免事業

物価高騰により影響を受けている町民の負担を軽減するため、水道基本料金の減免、町の簡易水道対象外地域の地区水道組合等に対し、基本料減免に係る補助金を交付する。(令和5年7月～10月分)



750万円

農林 酪農飼料高騰対策事業

飼料価格高騰による影響を緩和し、経営の安定のため支援を行う。

2歳以上 3千円×442頭=133万円

2歳未満 1,500円×242頭=36万円



169万円

教育 学校給食等の保護者負担軽減

給食原材料費の価格高騰による給食費負担増に伴い子育て負担を軽減する。

小学校 約39万円 中学校 約26万円

高校 約32万円



98万円

第3回臨時会 6/1

条例の一部改正、一般会計と簡易水道事業会計の補正予算の審議を行い、原案どおり可決しました。

条例改正

● 職員の特殊勤務手当の支給に関する条例の一部改正

主な内容は、新型コロナウイルスが第5類に移行することから、感染症患者又は感染症の疑いのある患者の収容又は、防疫作業に従事した職員の手当の改正で、日額医師1000円、職員500円とするものです。

補正予算

● 低所得者世帯支援給付金事業

● 一般会計5889万円を追加しました。

主な内容は、低所得世帯支援給付金事業1508万円、公共交通維持対策事業（道北バス補助）620万円、社会福祉施設等運営法人物価高騰対策支援交付金470万円、防災物品庫賃借・冷蔵庫購入事業269万円、子育て世帯生活支援特別給付金事業166万円、簡易水道事業会計補助事業680万円、地区水道飲料水供給事業70万円の追加などです。

防災倉庫を賃借

債務負担行為では、新たに防災物品庫賃借業務（令和6年度から15年度までJA北ひびきから防災倉庫として一棟を賃借）を追加しました。



賃借する防災倉庫

質疑

● 竹内議員

道路パトロール車について今シーズンの納期は大丈夫か、またライオンズクラブからの一部寄贈の扱いはどうするのか。

杉村建設課長

納期については、4ヶ月程度のことなので、今冬の使用には間に合うと考えている。

中村副町長

車両費については一般会計で予算措置を行い、ライオンズクラブからの寄贈を受けたのちに、財源振替えを行う予定。

水道基本料金減額

（7月から10月分）

● 簡易水道事業特別会計では680万円を追加しました。

主な内容は、水道料金の基本料の減額に伴う一般会計からの収入補てん680万円です。



寄贈されるものと同型の車輛

第2回定例会 6/21

定例会では一般質問に4名が登壇しました。（詳細は5ページからを参照）

町長から提出された議案は、条例の一部改正3件、一般会計補正予算ほか2特別会計補正予算、過疎地域持続的発展市町村計画の変更1件、農業委員会委

条例改正

● 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

働き方が変わり、休憩時間の設定を緩やかにすることで柔軟な働き方ができる改正です。

● 税条例の一部改正

森林環境税の導入に伴い、還付金が発生した場合、未納分に充当する際に個人町民税と合わせて当該税を納付・納入することにする。その他、地方税法等の一部を改正する法律に準じた改正です。

● 国民健康保険税条例の一部改正

国の法律等の改正により、後期高齢者支援金分の課税限度額（20万円から22万円へ）の引き上げ、法定軽減に判定基準の見直し（5割軽減及び2割軽減の軽減判定基準が変更となり、軽減対象者が拡大されます。）

補正予算

●一般会計4037万円を追加しました。

主な内容は町有施設維持管理事業（藤本町旧13区公民館解体工事など）238万円、情報システム管理事業（情報システム標準化・共通化移行支援業務ほか）489万円、新型コロナウイルス対策支援事業補助金240万円、経営発展支援事業補助金375万円、農地利用効率化等支援交付金710万円、麦・大豆生産技術向上事業補助金818万円、道の駅屋根板金防水補修工事195万円、道の駅販売管理（POS）システム購入費630万円、小学校校舎屋上雪庇ガード設置工事190万円などの追加です。

質疑

竹内議員

ご当地ポストが3か所目となるデザイン制作の委託を予定しているが、今後のポストの予定は、山下町づくり観光課長

現在のところ、予定していない。

大澤議員

道の駅のポストレジシステム導入はインボイス制度対応とのことだが、農産物納入農家への対応は。

山下町づくり観光課長

このシステムを導入することで請求書や納品書などの発行を行うことになる。農家の方々には従来通りの体制のまままで農産物の納入ができるものと考えている。

早乙女議員

2月に道の駅運営協議会に対してポストレジシステム導入に伴い、農産物等の手数料を上げたいとの説明があったが、その後どうか。

山下町づくり観光課長

手数料の決定には至っていない。10月からのインボイス制度に合わせて協議会と相談していきたい。

●国民健康保険事業特別会計では

222万円を追加しました。

主な内容は、令和4年度の道支出金の精算確定による返還金222万円です。

●国民健康保険剣淵町立診療所特別会計では歳入予算の補正（増減）です。

主な内容は、歳入の予防接種料513万円を追加し、一般会計繰入金を513万円減額するものです。

●介護保険事業特別会計では15万円を追加しました。

主な内容は役務費で手数料、通信運搬費で15万円です。

任命

農業委員会委員決まる

農業委員会について、12名の推薦等があり、全員が農業委員として適任であると報告があったため任命について同意しました。

氏名	住所	年齢
○ 漢 寿夫	仲町	52歳
岩田 政之(新)	元町	64歳
加藤 裕(新)	元町	66歳
中荃 稔	屯田町	48歳
大河 琢磨	旭町	43歳
精進 正弘	旭町	59歳
◎ 佐々木 喜芳	西岡町	59歳
松本 正貢(新)	西岡町	50歳
前田 敏男	西原町	67歳
窪井 義和(新)	東町	52歳
森脇 武史	東町	56歳
小柳 一明	藤本町	58歳

◎会長 ○会長職務代理



(令和5年7月20日～令和8年7月19日)

全道町村議会議員研修会

コロナが第5類に移行した事を踏まえ、7月4日に札幌コンベンションセンターで4年振りに全道町村議会議員約1500人が一堂に会しての研修会開催となりました。「ウクライナの危機後の世界と日本」で元防衛大学校長の五百旗頭真氏、「日本政治の舞台裏」と題して政治ジャーナリストの田崎史郎氏による講演がありました。それぞれ今後の世界情勢と日本の外交・安全保障、今秋の政局について大変重要で関心する内容で、皆、熱心に耳を傾けていました。





たけうち よしあき
竹内佳明 議員

剣淵町を売り込むブランドマークの活用とカントリーサインの変更について

町長 利用が足踏み状態であるブランドマークの定着と利用の促進に取り組んでいき、カントリーサインのデザイン変更は熟慮して申し入れる

竹内佳明 議員

平成28年に農業ブランド化推進協議会で、農産物の知名度向上を目指してブランドマークを設定したが、このマークの説明や認知度が少ないように思うが、今後どのように活用するのか。

早坂 町長

剣淵農業ブランド化推進協議会の事業計画でもブランドマークを普及することにしており、利用が足踏み状態であるマークの定着と利用の促進に取り組んでいきたい。

竹内 議員

マークは農業ブランド化推進協議会が剣淵産の農産物、加工品を責任を持って推奨し、マークを付けたものは安心で保証できるという内容だと思うが。

早坂 町長

新規開拓で補助を出して、パッケージを刷っている場合は義務的にブランドマークを入れていただき、箱の場合はどこかに必ず入れていただくことと思う。

竹内 議員

剣淵町の特色で他が真似できないキヌア製品がある。ブランドマークの付いているキヌアは国内で

も非常に数少なく、本当に安心安全な農産物と宣伝することが必要と思うが、ブランドマークとキヌアの宣伝は。

早坂 町長

キヌアのパッケージには付いてないので、出来るだけ入れるようにお願いしたい。

カントリーサインについて

竹内 議員

町へ入る国道、道々にカントリーサインが表示されているが、設置当時から年数が経過している。サインの目的は、市町村案内標識をシンボルマーク表示と一体化し、一目で剣淵町と認識されるという効果があり、サインそのものが町の印鑑的なものになると考えるが今後に向けての変更は。

早坂 町長

現在、このキャラクターカラスは、隣接市町村境界に設置されているほか、道々案内看板、町道路線看板等に利用されている。過去にもカラスからの変更を望む声があり、開発局へ相談した経緯があり、変えようという動きがあれば可能で、デザイン変更は熟慮して申し入れる必要がある。

当選祝いの慣習について

竹内 議員

儀礼的事業に対する考えで統一地方選で他市町村長等へ「当選祝い」を贈ることに疑問を感じているが。

早坂 町長

選挙時の当選祝いの慣習は続いており、町として交際費で支出し、外部と交渉するために要する経費である。許容の範囲のなかでの対応と認識しているが、廃止については、ほかの状況などを見ながら考えていきたい。

竹内 議員

交際費の自由裁量、儀礼的な部分は判るが町民に何ら利益が無いと思うので一刻も早くやめるべきだと思う。長年の慣習で続けてきた事も考慮して、他市町村の状況を把握することは。

早坂 町長

社会通念上の礼儀として考える部分もあるので、調べてみたい。





むらかみ ちせ
村上知世 議員

プロジェクトチームを立ち上げ 目標を明確にした過疎化対策を

町長 プロジェクト型にするのか、窓口型にしてほかの方法を考えるのか検討する時間をいただきたい

村上知世 議員

幅広い立場の町民を交えたプロジェクトチームを立ち上げ、目標を明確にした過疎化対策の実施について、お伺いしたい。

早坂 町長

プロジェクトチームの立ち上げは、平成22年に各課の職員で立ち上げ、視察のほか検討・協議を重ね、当時の町長へ提言した。町民を交えた検討の場については、「協働のまちづくりプロジェクト会議」「まちづくり町民会議」があるので、この会議体で実施するのが良いのかを含めて検討したい。

村上 議員

現在、役場内に移住・定住相談窓口があり、問い合わせや相談を受けているが、過疎化の歯止めになっていない。受け身でなく、外へ剣淵を知ってもらう活動が必要ではないか。また、移住するにあたり、町のホームページに移住者の必要な情報量が少ないが。

早坂 町長

移住されてきた方が、自分の生き方と、地域とのコミュニケーションがうまくいかず、出て行く人もいる。ホームページについては、改善を加える方向で検討したい。

村上 議員

企業誘致は労働力確保の部分で難しい。以前にもプロジェクトチームを組んで官民共同のサポート体制を作って移住しやすくできないかと質問したが、「民間事業者の受け皿がなければどのように作り上げていくのか、ここは熟慮しなければならぬ点」との答弁だった。その辺りはどうか。

早坂 町長

総務課の移住相談窓口に来ていただければ、相談体制はある。

村上 議員

移住相談窓口には年間、相談が10件程度で、ほぼ剣淵に縁のある人と聞いている。剣淵を知らなかった人が新規で住みたいと思わせる活動も考えられないか。

早坂 町長

プロジェクト型にするのか、窓口型にしてほかの方法を考えるのか、検討する時間をいただきたい。

剣淵高校への入学者確保と卒業後の介護福祉士の町内就職について

村上 議員

町内で働く介護福祉士の待遇や住宅補助など雇用条件の改善をすべきと考えるが。

早坂 町長

過去5年のデータでは、福祉関係に就職している学生は31名、このうち町内福祉施設への就職は2名で本町での就職は少ない状況である。

村上 議員

町内では介護士不足で利用者の受入れを縮小している状態。対応策として、外国人介護福祉人材育成支援協議会負担金280万円の予算が組まれた。介護福祉士を町で養成して、残せないのは問題。改めて職場づくりを考えるべきでは。

早坂 町長

研修先へ就職する子もおり、研修では施設も見られているという意識が必要。福祉法人の意向を汲み、町が奨学金を負担し海外の方を一人獲得するのに500万円かけても、施設環境が悪ければ辞めてしまう。町としては、町内就業ということでU・J・ターンで月々1万5千円の補助があり、かつして処遇的には悪くない。

村上 議員

町から補助しており、施設側に職場環境の改善を申し入れては。

早坂 町長

原因を調べ、話す機会を作り、いい方向にいくよう努力したい。



さかい おさむ
酒井 修 議員

福寿寮の休養室、空き部屋を研修宿泊施設等として、併用できないか

町長 有効活用の観点から、検討に値するものと考え関係各課と研究したい

酒井 修 議員

現在、福寿寮の入居者は定員の10名には届かない状況が続いており、今後増加が難しいと思う。ここ数年で改修を行い、多額の経費をかけてきた。定員が埋まらない場合、研修等の宿泊施設、例えば、お試し体験宿泊施設等としての利用も考えられるのではないが。

早坂 町長

福寿寮は高齢者等の福祉の向上を図るため設置された施設であり、町としては施設の有効利用の観点から、満室を目標に周知活動を続けているが、指摘のように数戸の空きがある状況が続いている。

質問にあった「研修等の宿泊施設としての利用も考えられる」との提案だが、現在利用されている方々との調整が必要になる。施設の有効活用の観点から検討に値するものと考えているので、関係各課と研究していきたい。

酒井 議員

他町村では独立した宿泊施設を持つている所がある。福寿寮の北側に休養室という部屋があり、ほぼ使われていない。この部屋と空

いている部屋数室を、宿泊の研修施設として利用できないのか、何よりも費用がかからない。宿泊研修施設にも利用できると思えば、さらに利用価値は上がると思う。福寿寮の10室は10室そのままよく、空いている部屋を宿泊研修室として利用することは、非常に効率的と考える。また、宿泊研修施設となると、最低限の生活設備が必要となるが、福寿寮には冷蔵庫、洗濯機等共有だが、設備があり条件が整っていると思うが。

早坂 町長

入居者の方々の理解が得られれば、一時宿泊を考えられると思う。休養室、家族の宿泊部屋は居住スペースとも離れているので研修の方でも泊まれると思う。今後、具体的な内容については担当課と相談して、解決していかねければならないと思う。

酒井 議員

現在、入居者は女性ばかりなので、例えば男性の宿泊研修者の場合には、やはり入居者の理解を得ることが一番大事だと思っている。現在は、農業研修に来た方は「宿泊施設がありませんよ。農家民泊をお願いします。」という話にな

ると、今の世の中は、なかなか受け入れるほうも、宿泊をお願いするほうも、どうしても二の足を踏んでしまうと思う。そのためにもこのような宿泊研修施設は必要だと思ふ。例えばの話、火災や災害の被害に遭った方、そこで行き場のない被災者にとって、お金のからない臨時の宿泊施設としての利用も考えられると思う。特にこういうような部分に関しては迅速さが一番求められているところなので、そういう部分に関しては、早急に対応してもらいたいと思っているが。

早坂 町長

被災者等がどうしても宿泊場所が無いということであれば、それは対応できると思う。緊急避難的に2部屋、あるいは休養室入れて3部屋利用も出来ると思う。キッチンが付いているので、使い勝手も良いと思う。

研修者は、高齢者の中で生活することが、剣淵の地域のコミュニティを体験できるという部分もあると思うので、その部分も含めて少し検討する時間が必要と考えるので御理解を願いたい。



おか やすてる
岡 康照 議員

在宅高齢者が健康・栄養状態を維持できるような食環境の充実を

町長 配食サービスと合わせて複合的な食事支援を提供し、極力ニーズに応えられるようにしていきたい

岡 康照 議員

高齢化が急速に進むなかで、在宅高齢者が健康・栄養状態を維持できるような食環境が重要である。配食サービスは日常の食事を支える重要な役割を果たしていることから、高齢者の生活支援が充実するよう取り組むべきと思うが。

早坂 町長

栄養バランスのとれた食事を定期的にお宅に届け、高齢者の生活を支援するとともに事業利用者の安否の確認等を行う事業として実施している。今後、食事の支援へのニーズが高まることは十分考えられ、配食サービスと合わせて訪問介護やデイサービスなど複合的な食事支援を提供し、極力ニーズに応えられるよう弁当の事業者、社会福祉協議会などと協議を重ね連携し、加えて、必要な予算の確保に向けて検討してまいりたい。

岡 議員

ヘルパーが配達と回収を行っているが、次回配達の際に回収するべきでは。また、利用者に対し定期的なチェックリストを行うことで、訪問介護で食事を作るなど総合的な取組みにつなげられないか。

早坂 町長

ささえ愛けんびちが、どの程度まで活動としてできるのか相談していきたい。また、包括で日々の変化の中でのチェックリストは用意しているの、促す、指導するところを含めて現場の中で協力してやっていけるように配慮したい。

デジタル変革(DX)の推進により、行政サービスのさらなる向上を

岡 議員

地方自治体が直面している課題に対処するためには、デジタル技術等の活用により住民の利便性を向上させ、業務効率化を図り、人的資源を行政サービスのさらなる向上につなげるデジタル変革の推進が重要である。町長が設置を指示した剣淵町自治体DX推進ワーキンググループの提言をどのように活かしていくか。

早坂 町長

DX推進ワーキンググループでは、本町におけるDX推進の必要性、DX推進にあたり考慮すべきこと、町が重点的に取り組む事項など検討を重ねていただいた。提言の内容は貴重なもので、DX推進にあたり配慮しつつできることが

ら進められるよう考えていきたい。

岡 議員

財源を準備した上で住民目線で便利になる、業務として効率的にできるような提案を各課から積極的に受けられるようにしたり、民間企業との連携を密にしながらDXを進めていくべきでないか。

早坂 町長

財源の有り無しに関わらず、必要な部分はやらなければならぬ。企業との程度まで連携を深めるかもあるが、行政の事務がどうか、職員の潜在能力を最大限に発揮した形のなかでDXを進めていきたい。

岡 議員

デジタルシフトの先にある自治体の役割とは何か。いかに住民の幸せを形にしていけるか。職員が事務以外にどういった仕事を作り出すことができるのかも含め、町長としてリーダーシップをとってビジョンを掲げた上でデジタル変革を推進していただきたいが。

早坂 町長

私も責任ある立場であり、職員を考え、町民の考えを十分織り交ぜながらどのようなDX化がいいか検討して進めていきたい。

定数等議会改革特別委員会行政視察 (令和5年6月29日)

剣淵町議会では、適正な議員定数、各種委員会構成、議会運営等議会改革に関する調査を目的に、地方自治法第109条及び剣淵町議会委員会条例第4条の規定に基づき、定数等議会改革特別委員会を設置しています。

定数等議会改革特別委員会では、今後の議会改革に関する議論を行う上で、必要な調査研究のため6月29日に下川町議会及び和寒町議会に行政視察を実施しました。

	下川町	和寒町
1 議員定数について	12人から8人に改正。 (平成18年9月) ※現職7人	10人から9人に改正。 (令和4年12月) ※現職8人
2 委員会について	平成19年の改選期から常任委員会 が1つとなった。 総務産業常任委員会：委員定数8人	2つの常任委員会と委員定数5名を 維持し議長も常任委員に加わる。 ※選挙の結果8人となったため現在 は1委員会となっている。
3 議会選出 監査委員 について	平成31年3月 監査委員は議員の 中から選出しない。	議員から選出する。
4 その他の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> 議会基本条例の制定 令和3年4月1日施行。 通年議会 令和3年5月施行。 議会モニター制度 平成30年度から実施。 議会録画配信 下川町議会諮問会議の設置 令和3年11月1日付で5名の 委員を委嘱。 	<ul style="list-style-type: none"> 議会基本条例の制定 平成22年4月施行。 議会報告会 一般質問録画配信 令和元年9月定例会分から配信。



下川町



和寒町

みんなの声 まちづくり

仲町 ECC英語教室経営 ささだ さなえ 笹田早苗さん

①いま頑張っていることや、これからやりたいこと

英語を学ぶことで、相手とコミュニケーションをとるために必要な相手の文化や常識を知ろうとする力を身につけてもらい、海外でも剣淵町内でも活躍できる人材を育成することです。



②町にあればいいと思うものや、どのような町づくりを期待していますか？

海外から来た人たちとコミュニケーションがとれ、多様性を受け入れられる町づくりに期待します。

マンパワーには限界があり、今後さらに高齢化も進むので防犯カメラを通りに設置した方がいいと思います。

配布される温泉券が使えない人もおり、レークサイド桜岡に宿泊したことのない町民もいるのでホテルでも使えるような利用補助券にできたらよいと思います。

藤本町 農業経営 のぐち たくみ 野口拓己さん



①いま頑張っていることや、これからやりたいこと

昨年からは農業経営者になって、麦・小豆・金時・大豆を中心に作付けしています。将来的には現在の経営面積を40ha位まで増やして、アスパラやブロッコリー栽培も手掛けてみたいです。

②町にあればいいと思うものや、どのような町づくりを期待していますか？

剣淵産農産物のPRをして欲しいです。また、道の駅の活用やドッグランを利用した集客を積極的に行っていただきたい。

町村議会新任議員研修会

7月19日に札幌で開催された北海道町村議会議長会主催の町村議会議員新任研修会に1期目の議員4名が参加してきました。この研修会は、4年に1度の統一地方選後に開催されるもので全道各地から200名を超える新任議員が参加し、元全国都道府県議会議長会事務局次長の鵜沼信二氏による「地方議会（議員）制度と運営に関する基礎的事項」と題しての講演で、議会及び議員の役割と権限、地方議会議員の義務と留意事項、議会の運営についてなど基本的な事項についての説明を受けました。その中で、議員は常に住民代表としての見識と議員の職責の自覚を持つなど、身の引き締まる内容に参加者全員が今後の議員活動への布石として意識を高めました。

